

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227
事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796
編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348
HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和5年2月(2023年) No.686

4月通常例会より

18時開催を13時開催へ変更します

わが大阪ムービーサークルは、日本一長い？歴史を誇っているクラブで当初からまだ現役の勤め人がほとんどの会員さんでした。ウィークデーの昼間の例会など考えられず、皆が参加しやすい土曜日の夜が例会日でした。ところが会員の高齢化で勤めている人が次第に減り、今やほとんどが「毎日が日曜日」という方が増え、夜の例会を敬遠する人が出てまいりました。確かに車を利用する方で夜の運転はやめている、という人や、夜少し遅くなるとバスが無くなる、夜の外出は家族から止められているといった方が増えてきました。

そこで昼間の例会へ切り換えへようという機運が高まってきましたが、会場確保の点で課題がありました。土曜の午後は、希望者が多く取りづらいこともありますが、3ヶ月前の抽選制で、くじ運がよければ希望の第4研修室が予約出来ます。第4研修室以外での研修室でも確保できれば、それはそれでやむをえません。又、費用の点で昼間は夜より長い分部屋代が高くなります。このため、第二例会の数(現在奇数月の年6回)を半減し(5月は課題コン、7月は撮影コン、1月は総会の計3回)で経費が増えないようにしたいと思います。(今季3月第2例会は実施)。

関東地区や関西の他のクラブも、今やどこも昼間に例会をやっているようで、むしろ夜の例会をやっているのは大阪ムービーサークルだけだったかもしれません。

昼間の例会になれば、今まで通常例会にご欠席の方(4名おります)も出席して頂けるのではないかと期待しております。幸い、いつも使っている第4研修室が4月例会日には確保してありますのでおおくの方にご出席いただきたいと思います。



2月例会のご案内

■ 第4土曜日25日 18時～より、難波市民学習センターにて開催

まだ寒さも残っている頃ですが、皆さん集まって楽しい集いにいたしましょう。
新作・旧作どちらでも歓迎です。

課題コンのテーマ 「和」と決まりました

毎年1月に行われる宮中歌会始めの儀で発表される。来年の「題」に合わせて、わが OMC もコンテストをやっていますが、来年は「和」という字になりました。この「和」という字がタイトルに含まれることが条件です。

さあ、この「和」からどんな題が連想されますか。昭和の和、平和の和、大和の国、和歌、和船、調和、戦艦大和、和歌の浦、和歌山城、和やか、和む、等々考えれば色々ありますが、さて、これを作品にどう生かすか、どんなテーマにするか、各自の腕の見せ所です。

コンテストは5月18日(第3木曜日)第2例会の日です。優秀作品は秋の公開映写会の出品候補となります。皆さん、どうぞ「和」の作品を作ってください。

令和4年度表彰式

総会で関、進藤、紙本の3氏に功労賞の賞状を進呈 3氏とも、長年会員として、又役員として大いなる活動をなされ、会の発展に多大なる貢献をしてこられました、依って授賞者を代表して紙本氏が、会長から賞状を手渡され拍手でお祝いを致しました。誠に有難う御座いました。尚、体調不良でご欠席の関氏と進藤氏へは事務局から額入れして郵送したのに対し、メールと感謝の言葉がありました。最多出席者賞、最多出品者賞は前号に記載の各氏へ、総会の席上で会長から記念品を手渡されました。拍手！！



新入会員のご紹介

高田幸夫さん(住所・電話番号は別途会員名簿にてお知らせします)

高槻のクラブで活躍なされて来られた方ですが、発表会などにはよくお見えになっておられました。皆さん宜しく願いいたします。

退会者のお知らせ

進藤信男さん；健康上の理由で退会届が会長宛に出されました。早く快くなられる事を祈念いたします。回復されましたら再入会されますよう期待いたします。

撮影会予告

和歌山県かつらぎ町観光協会、丹生都比売神社に問い合わせた結果、4月第2日曜日に花盛り祭が実施されることを確認しました。撮影会日程、交通機関、宿泊施設、飲食などの、計画書を2月例会にて提示いたしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年4月8日(土)～9日(日)

場所：和歌山県かつらぎ町 丹生都比売神社

行事内容

(かつらぎ町観光協会ホームページより)

「花盛り祭」は丹生都比売神社の春の大祭で、ご祭神に花を供え春の訪れを寿ぐ祭りで、当日は参道に季節の花を竹筒に入れ飾ります。午前の祭典では、本殿の御扉を開け、祝詞を奏上し、地元の子供たちが神前神楽「浦安の舞」を舞います。午後には、「渡御の儀」を行います。この「渡御の儀」は、古く鎌倉・室町時代に行われ、神輿行列が和歌山市内の和歌浦にある玉津嶋神社までご巡幸した「浜降り神事」がもととなっています。その後、天野の里内で「渡御の儀」として行事が行われ、幾度か中断しましたが平成元年に崇敬者・



地元の方々の協力により復興されたものです。また、当日は野点（お茶）や雅楽・太鼓の奉納演奏も行われます。

1月通常例会レポート

寒さ厳しいこの日も池の水が凍っていたし、時々小雪がちらついていた。今日の例会日には集まりが悪かろうと思っていたが 13 名の方が出席、8 本の作品が出て、まずまずの盛会となった。今月から高田幸夫さんが正式に入会され作品も披露された。

- **運営担当**：司会 岡本、書記 合原、YouTube 関係 江村、映写 上総、坪井、記録 江村、受付け照明 森下、宮崎の各氏
- **出席者**：岩井、江村、岡本、大久保、上総、合原、高田、高瀬、坪井、中川、宮崎、森下、山本の 13 氏

上映作品（今月の書記は合原会長）

1、氷河の上に BD

関 剛 7分00秒

（作者コメント）氷河上の氷を固めて大型のバスが通れる道を作り、アサバスカ氷河の上流3Kmあたりまで観光客を案内するサービス。タイヤの幅60cm直径1.5mの専用バスが通るすぐ横に大きなクレバスが口を開けていてスリル満点。しかし氷上の駐車場は冷たい風が吹き荒れていて、撮影もそこそこに車内に逃げ込んだ。



氷河の規模とその大きさを表現する為に奈良の大仏殿を比較の対象に選んだのは唐突だったと後悔している。

（会長コメント）雄大な景観に見とれていると7分の作品はすぐ終わってしまった感じで、もっと見たかったのに、と不満？も残った作品。やはり海外ツアー作品は魅力があっつい。

2、青森蕨温泉沼巡り BD

高田幸夫 5分35秒

（会長コメント）初入会で名刺代わりにと持参された作品。昨年10月青森へ奥様との二人旅。紅葉の美しい沿地への旅は素晴らしかったであろうとの感想。しっかりとしたカメラワークはかなり年期の入ったベテランの味がしたこの作品、歌の入った構成だが、せっかく静寂な自然豊かな沿地へ行かれたのだから、自然界の音、落ち葉を踏んで歩く音、鳥の声などをいかし、マッチした音楽と共に、その中で満喫する夫婦の喜び、満足感などを表現したら、公開映写会にも出せる作品になると思う。映像がきれいなだけに、このままでは勿体ない作品だ。



3、熊野街道・八軒屋～和泉府中 BD

山本正夢 9分30秒

（作者コメント）熊野街道は平安時代から鎌倉時代に蟻の行列と言われるほど盛んに熊野詣が行われました。しかしながら時代が古いので消滅した道と不明なルートも多い。



（会長コメント）昔、栄えていた熊野街道。今も所々に面影が残っていて、それを探し歩きながら撮影されている作者にまず敬意を表したい。

ネット等で調べて出掛けられると思うが、毎回相当距離を歩いておられるに違いない。健康の証でもある

4、神も仏も

BD

上総秀隆

14 分 30 秒

(会長コメント) 高野山真言宗特別伝導大会が南海住吉大社駅近くの住吉大社で行われた時の記録映像。関係者に依頼されて記録として撮影されたもの。150 年ぶりの供養だとか。

神仏合同のお話と法要の様子が記録されている。実際はもっと長編であろうが、これはダイジェスト版と思われる。いずれにしてもなかなか荘厳な法要である。



5、どぶろく祭り

BD

高瀬辰雄

10 分 25 秒

(作者コメント) 合掌造りで知られる岐阜県白川郷祭り。平成 20 年(1994 年)の制作で 30 年前の作品。S-VHS-C で撮影したもので、編集で 2 度ダビングしているため画質は悪いです。VHS はこの作品が最後で、以後、DV に変わりました。こうした素朴な祭りは、今も昔のままの姿で続けられているのでしょうか。

(会長コメント) 凡そ 30 年前に撮られた白川郷のどぶろく祭りの様子が丁寧に描かれている。コロナ禍でここ 2 年ほどは中止であろうが、今年あたりは復活するんじゃないかと期待される。寒い冬を乗り越える前の一地方のお祭りは、村人たちの最大の喜びのイベントでもあろうと感無量な気がする。どぶろくの味はいかばかりであろうか。この作品「懐かしの映像を楽しむ会」にうってつけの作品のように思えるがいかがであろうか。



6、短歌紀行 奈良晩秋

BD

岡本至弘

7 分 00 秒

(作者コメント) 12 月例会の改作です。提案頂いた点と短歌の文言、映像を訂正いたしました。

(会長コメント) 先月上映した作品で、指摘された処をやり直して持参されたもの。一方、短歌が脇役であっても、自分の作った短歌なので、声を出して詠み上げてみたらどんな印象になるだろうか、と考えてみる。おそらく短歌が主役で映像が脇役(添え物)になるかもしれない。もっとも「詠む」力量が問われるが。



7、京のお伊勢さん

BD

江村一郎

7 分 30 秒

(作者コメント) 京都が地元の高瀬さんより紹介されていて去年の 12 月に行ってきました。京のお伊勢さんと呼ばれる日向大神宮で、伊勢神宮と同じ天照大御神を祀っています。京都では最古の神社の一つともいわれ、内宮、外宮もあり伊勢神宮の代参として親しまれている。南禅寺や琵琶湖疎水等の近くにありながら意外と知られてなく観光客が多く来る場所ではなさそうです。当初は三脚を使えるか心配でしたが、それは杞憂でした。

(会長コメント) 京都南禅寺、蹴上の辺りに伊勢神宮と同じ天照大御神を祀った神社があるとは、初耳。それにしても何故ここに、こうした神社が造営されたのか、という興味が湧いてくるが、残念ながら作品からはそれが伝わってこない。トップシーンで家族ずれのカットがかなり長く出てくるが、この作品にはむしろ邪魔になるカットのように見える。ラスト



の方の持っていきかたも今一つ工夫が有ってもよかった。しかしながらあまり知られていない神社の存在を紹介された意義は大きい。観光客が増えるかも。

8、男山探訪記

BD

合原一夫

13分 25秒

(作者兼会長コメント) 8ミリフィルム時代、私は寝屋川の会社社宅に住んでいて、寝屋川8ミリクラブに在籍していた。この時クラブの撮影会で八幡市の男山にてドラマ仕立ての脚本・演出を私がやったことがあった。女性をバスガイドさんの指導員との設定で、男山に取材、下調べに来たというストーリーである。



女性が素人なので、セリフがいまいち固いのが難点だったが、まずまず良かったのではないかと、当時(昭和61年)が懐かしい、あれから37年がたつ。

以上、1月例会上映は終了し、夜の街の二次会へと繰り出し映像談義を楽しんだ。

1月第2例会レポート

1月第2例会は第3木曜日19日13時より開催。まず総会があり、活動報告、会計報告、今年度活動計画などの議案が満場一致で可決後、功労賞が関剛氏、進藤信男氏、紙本勝氏に授与、次に最多出席賞、最多出品者賞があった。又撮影会企画が中川氏より発表があった。

■ 運営担当：司会 合原、書記 高瀬、YouTube 関係 江村、映写 岡本、

メモリー記録 中川、受付・照明 宮崎、森下の各氏

■ 出席者：岩井、植村、江村、岡本、大久保、上総、紙本、合原、柴辻夫妻、高瀬、高田、鉄具、中川、中村、宮崎、森下、山本の18氏、関氏は作品のみ

上映作品(書記は高瀬氏)

1. 壊れたカメラ

BD

高瀬辰雄

8分 20秒

(作者・書記コメント) 亡くなったビデオクラブの仲間から預かっていたカメラが故障した。メーカーに尋ねたが、古くて、もうないこのカメラにまつわる話を作品にしてみました。知人のプライベートな映像が多いので、クラブ内の映写に留めておきたいと思います。



ナレーションはAItalk(従前の「声の職人」は法人向けとなり、個人向けの製品名は「AItalk」エーアイトーク)を使用しているが、感情が伝わりにくいという指摘があった。

2. 父鬼街道

BD

山本正夢

10分

(作者コメント) 西国巡礼に使用された平安時代からの街道。

(書記コメント) 父鬼(ちちおに)街道は堺市の鳳から和泉市の父鬼町を経由して和歌山県紀の川市の西笠田まで、西国巡礼に使われた街道で全長38キロの道程。途中、県境を越える峠があり、かなりハードな街道といわれている。この道を作者は秋色に染まる風景や神社、道端の地蔵などを描写しな



がら撮られている。ラスト近くの串柿の里、そして西笠田駅に行く電車の俯瞰シーンが印象的。話を聞くと、串柿の里辺りで陽が暮れ、懐中電灯を頼りに夜道を歩かれたようだ。

3. 古(フル)ムーンの思い出に BD

柴辻英一 5分

(書記コメント) 紫陽花が咲く、志摩半島・合歓の里で坂本冬美のヒット曲「また君に恋している」をBGMに、作者ご夫妻の映像を重ねられている。柴辻さんならではのタイトルがシャレており、ゆったりとした時の流れを感じさせるようなスローな映像もマッチしている。



4. ビンゴゲーム BD 植村朝一 6分44秒

(作者コメント) お正月に孫達も含めて久しぶりに集まったので、ビンゴゲームを行なった。始めから終わりまで12カット。連続撮影した映像より必要部分を繋いで作品にした。



(書記コメント) 今年のお正月、久しぶりに家族が集まり、ビンゴゲームに興じられている。お孫さんの笑顔やご家族の楽しい雰囲気が画面いっぱいにあふれ、思い出に残るホームムービーといえます。ライトなどは使われていないようだが、室内撮影ながらどのカットもきれいに撮られている。

5. 赤い陣羽織 DVD 合原一夫 14分

(作者コメント) 8ミリフィルム作品。フィルム時代、富士フィルムの8ミリクラブで撮影会が行われていたが、8ミリフィルムとカメラ・シングル8のPRのため多額の補助金が出ていた。この作品は時代劇で衣裳やかつら、小物など借りるだけでも大変な経費がかかったと思われるが、参加費はタダだったように思う。思えばいい時代だった。



本作品は柴辻英一さんの脚本・演出で、出演者はもう今は亡きクラブの世話役さんで菊池さんという方が主演、脇役にはセミプロ級の方やドラマ好きな世話役さんが出ておられる。なつかしの作品である。あの頃から50年、時代が変わったものである。昭和47年(1972)作。

(書記コメント) 私が富士フィルムの8ミリクラブに入会したのは「赤い陣羽織」撮影会のおよそ5年後。それから何度かドラマ撮影会が行われ、柴辻さんの作、演出で菊池さんや吉田さんの熱演に接した。当時、お二人はご高齢かとカメラのファインダー越しに見ていたが、今、拝見するとかなりお若い。50年経ち年齢の逆転による錯覚でしょうか。いずれにしても半世紀経っても色褪せない、なつかしいドラマ作品です。

6. 原風景を守る湯宿 BD 中村幸子 7分33秒

(作者コメント) 秋田県奥羽山脈の山奥に江戸時代から続く秘湯の宿がある。テレビもない素朴な宿を求めて全国から郷愁を求めやってくる、予約1年待ちの宿。素朴さを守る宿の当主の苦労を取材した。



(書記コメント) 作者は何年も前から何度も、この湯宿を訪れられているとかで、思い入れの深い温泉宿であるようです。その熱い思いを宿や周囲の風景、湯船などに込めて描かれている。それと同時に歴史ある湯宿を守る主人の思いも語られているが、この二つを7分余の映像でどう伝えるかが、構成、編集の難しさでしょう。ラストの雪の情景は昔行かれたが、静止画でしか残されていないそうで、動画でないのが惜しまれる。

7. 2022サンクス・イルミ BD

中川良三

6分 56秒

(作者コメント) 河内長野市にある府立花の文化園。去年の10月15日から始まっている、近くなのでいつでも行けると思っているもなかなかその気にならず、12月になってしまった。行くきっかけは近所の人の話では「素晴らしい」「行くべき」との声掛けもあり、寒くなる前に行ってみることにした。なるほど5年前に行った時よりは電飾や企画がしっかりしていて楽しめたので、撮影し編集した。



(書記コメント) 近所の人の言葉通り、本当に素晴らしいイルミネーションです。ブロックごとに分けられた会場を移動撮影など使って、その素晴らしさ、楽しさを表現されている。ただ画面サイズなどがほぼ一緒なので、アップとか、カットのテンポといった変化も少し欲しい。

8. 人形劇団「シャボン玉」 BD

上総秀隆

11分 54秒

(作者コメント) 堺市周辺の幼稚園などをボランティアで回っている人形劇団「シャボン玉」は発足してから35年以上になる。まもなく廃園となる幼稚園でのこの日の公演は「ゴミラなんかこわくない」。環境保全教育を意図するオリジナル作品である。



(書記コメント) 12月例会で出品された作品は「ゴミラなんかこわくない」のタイトルで人形劇そのものが中心だったが、この作品では冒頭で春に閉園となる幼稚園であり、最初で最後の人形劇であることを強調され、人形劇もコンパクトに凝縮し、まとまった作品に仕上げられている。ただし横から撮られている？映像が斜めに傾き気味で、最初はゴミラの登場を意図的に表現されているのかと思ったが、その後も変わらず、やや気になります。

9. すみよっさん

BD

鉄具嘉夫

14分 7秒

(作者コメント) 住吉大社は海の神様ですが、初辰まいりと云う月初めの辰の日におまいりするとお金もうけのコツを教えてくださいそうです。



(書記コメント) 住吉大社の由来などを丁寧に描かれ、よく分かる内容になっています。ただ初辰まいりのシーンに行くまでが、祀られている祭神の説明や、お宮参りや結婚式などがあり、いつお金儲けのコツを教えてもらえるのかと期待の時間がやや長いように思われます。最後に作者も「すみよっさんもけっこう儲かってまん」と言っているように、毎月、お参りし、招き猫などを買わせる仕組みを考えた「すみよっさん」が一番商売上手かも知れません。

10. 丹後半島 伊根の印象 BD

岡本至弘 6分10秒

(作者コメント) 2019年(平成31年)4月13日~14日実施のOMC撮影会作品です。「令和4年度、第51回和歌山県アマチュア映像コンクール、和歌山県観光連盟会長賞」受賞作品です。

(書記コメント) 丹後半島の伊根町の舟屋をテーマに、やや単調だが、ゆったりと流れる時間と風景をそれにふさわしい映像とナレーションで綴られている。コンテスト入賞作品だけあって酒蔵や新井崎漁港なども添えられ、ラストを赤く染まった海と島影で締めくくられた編集も巧みである。



11. 樹齢 3000 年 日本一の大杉 BD

江村一郎 7分30秒

(作者コメント) この巨樹は高知県大豊町にある樹齢3000年の大杉で、昭和27年には国の特別天然記念物に指定されている。ここには坂本龍馬や藩主、山内容堂も来たと記録に残っているそうです。近くには昭和の歌姫、美空ひばりの遺影碑と歌碑があります。これには昭和22年に大豊町に巡業に来ていたとき、乗っていたバスが転落事故に遭い、九死に一生を得る(車掌さんは死亡)ことがあり、14歳の時に再び訪れ日本一の歌手になることを誓ったことに由来する。そのことから作品の後半は歌謡ビデオとなっています。



(書記コメント) 樹齢3000年の大杉と歌手の美空ひばりの逸話をミックスされた構成が巧みな作品。前半は大杉、後半は美空ひばり、そしてラストはどう締めくくられるのかと思っていたら、大杉を背景に、美空ひばりが願掛けし国民栄誉賞受賞というテロップでうまくまとめられている。

12. ジャスパー国立公園 BD

関剛 9分

(作者コメント)

カナダシリーズ第4作目。ジャスパーはカナディアンロッキーの玄関口。ここから大自ツアーが始まる。野生のエルクやビッグホーン、カナダ雁たちは人間が近づいても知らん振り。美しい針葉樹の森と青い湖が何処までも続く。撮影場所が変わる毎に親切心のつもりで地図を出したが、ちょっとやり過ぎたか?



(書記コメント) カナディアンロッキーの雄大な自然を満喫させてもらえた作品。ほとんどが岩の山という荒涼とした風景と、対照的な麓を流れる川や滝、青い湖、針葉樹の森が印象的。カナディアンロッキーの作品は今後映写される作品を含め3編提出されており、いずれも同じ日に撮影されたもの。今後各編とも最初の30秒は同一映像のイントロが入っているそうです。